

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Key Engineering Materials 131-134:2007	Cell proliferation on titanium layer with in vitro apatite forming ability	Kuboki T	補綴科 (クラウンブリッジ)
Neuroscience 144:665-674,2007.	Two types of neurotransmitter release patterns in IB4-positive and negative trigeminal ganglion neurons	Matsuka Y	補綴科 (クラウンブリッジ)
Alcoholism: Clinical and Experimental Research 31:855-867,2007	Bi-directional alterations of hippocampal cannabinoid 1 receptors and their endogenous ligands in a rat model of alcohol withdrawal and dependence.	Matsuka Y	補綴科 (クラウンブリッジ)
Journal of biomedical materials research Part A; 82:195-200, 2007.	Chemical interaction of polyphosphoric acid with titanium and its effect on human bone marrow derived mesenchymal stem cell behavior	Maekawa K	補綴科 (クラウンブリッジ)
Clinical oral implants research 19(3):320-325, 2008.	Effect of polyphosphoric-acid pre-treatment of titanium on attachment, proliferation and differentiation of osteoblast like cells (MC3T3-E1)	Maekawa K	補綴科 (クラウンブリッジ)
Archives of Oral Biology 52(5):479-86,2007	Muscle contraction accelerates IL-6 mRNA expression in the rat masseter muscle	Maekawa K	補綴科 (クラウンブリッジ)
Nature Medicine 13(10):1219-1227,2007	Identification of Tendon Stem/Progenitor Cells and the Role of the Extracellular Matrix in Their Niche	Sonoyama W	補綴科 (クラウンブリッジ)
Journal of Biological Chemistry 282(42):30938-30948, 2007	Non-canonical Wnt-4 Signaling Enhances Bone Regeneration of Mesenchymal Stem Cells in Craniofacial Defects through Activation of p38 MAPK	Sonoyama W	補綴科 (クラウンブリッジ)
Stem Cells 25(4):1021-1028,2007	Transplantation of Mesenchymal Stem Cells is an Optimal Approach for Plastic Surgery	Sonoyama W	補綴科 (クラウンブリッジ)
Journal of Dental Research 86(7):594-599,2007	Human Hertwig's Epithelial Root Sheath Cells Play Crucial Roles in Cementum Formation	Sonoyama W	補綴科 (クラウンブリッジ)
Journal of Craniofacial Surgery, 18(5) 1138-1141, 2007.	A custom-made sealing screw cap for closed hollow obturator.	Nishigawa G	補綴科 (咬合・義歯)
Journal of Oral Rehabilitation, Jan; 35(1):73-8, 2008.	Nasal speaking valve: a device for managing velopharyngeal incompetence.	Minagi S	補綴科 (咬合・義歯)
Acta Histochem 110(3): 217-223, 2007	Histological comparison of bone induced from autogenously grafted periosteum with bone induced from autogenously grafted bone marrow in the rat calvarial defect model.	Ueno T	口腔外科 (再建系)
Annals of Plastic Surgery 59(6):707-712, 2007	The evaluation of bone formation of the whole tissue periosteum transplantation in combination with beta-tricalcium phosphate (TCP).	Ueno T	口腔外科 (再建系)
Journal of Hard Tissue Biology 16(2): 50-53 2007	Evaluation of osteogenic potential of cultured periosteum derived cells--preliminary animal study.	Ueno T	口腔外科 (再建系)
Journal of Hard Tissue Biology 16(2): 87-90 2007	Clinical investigation of dental implant reconstruction for grafted alveolar cleft patients.	Ueno T	口腔外科 (再建系)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
口腔衛生学会雑誌 57:632-639,2007	8~10年間のメンテナンス患者における歯の喪失状況と喪失に関連する要因	山本 龍生	予防歯科
Journal of Periodontology 78:2165-2170,2007	Oral administration of vitamin C prevents alveolar bone resorption induced by high dietary cholesterol in rats	Tomofuji T	予防歯科
Journal of Clinical Periodontology 35:215-220,2008	Correlation between periodontal status and biting force in patients with chronic periodontitis during the maintenance phase of therapy	Yamamoto T	予防歯科
日本小児歯科学雑誌 45, 503-509, 2007	蛍光反射装置を用いた定期健診中の初期齲蝕の評価	平野 慶子	小児歯科

計 190

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 森田 潔
管理担当者氏名	総務課長 中西 治幸, 医事課長 菅原 秀倫 各診療科長, 中央放射線部長 金澤 右, 医療情報部長 太田 吉夫 薬剤部長事務取扱 千堂 年昭, 看護部長 保科 英子

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録				
	病院日誌	総務課	カルテ等病歴資料は、外来・入院別に1患者1ファイル方式として保管している。 X線写真は、1患者1ファイル方式で保管している。 なお、カルテ等病歴資料はコンピュータによる集中管理を行っている。	
	各科診療日誌, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	各診療科 医療情報部 医事課		
	処方せん	薬剤部		
	エックス線写真	中央放射線部		
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業員数を明らかにする帳簿	総務課		
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数, 外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
	確規保則の第9条	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	2	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	3	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	及び第1条の1	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課 医療安全管理部	
	1	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	1	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	各号に掲げる体制	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部		

		保管場所	分類方法
病院の 管理及 び運営 に関する 諸記 録	規 則	院内感染のための指 針の策定状況	感染制御部
	第 1 条	院内感染対策のため の委員会の開催状況	総務課 医事課
	の 1	従業者に対する院内 感染対策のための研修 の実施状況	感染制御部
	1 各 号	感染症の発生状況の 報告その他の院内感染 対策の推進を目的とし た改善のための方策の 実施状況	感染制御部 医事課 総務課
	掲 げ る	医薬品の使用に係る 安全な管理のための責 任者の配置状況	総務課
	制 確 保	従業者に対する医薬 品の安全使用のための 研修の実施状況	薬剤部
	の 状 況	医薬品の安全使用の ための業務に関する手 順書の作成及び当該手 順書に基づく業務の実 施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用の ために必要となる情報 の収集その他の医薬品 の安全使用を目的とし た改善のための方策の 実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用 のための責任者の配置 状況	総務課
		従業者に対する医療 機器の安全使用のため の研修の実施状況	医療機器安全管 理室
	医療機器の保守点検 に関する計画の策定及 び保守点検の実施状況	医療機器安全管 理室	
	医療機器の安全使用 のために必要となる情 報の収集その他の医療 機器の安全使用を目的 とした改善のための方 策の実施状況	医療機器安全管 理室 医療安全管理部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者	事務部長 長島 一博
閲覧担当者氏名	総務課長 中西 治幸
閲覧の求めに応じる場所	管理棟研究棟3階小会議室（病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧場所）

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	75.2%	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算出根拠	A： 紹介患者の数		16,350 人
	B： 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13,870 人
	C： 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,075 人
	D： 初診患者の数		27,756 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延べ数を記入すること。

## 規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (2名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (1名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	(有) ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (11) 名</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療事故防止委員会の運営に関する事。</li> <li>・ 医療事故防止対策の立案に関する事。</li> <li>・ 医療事故・ニアミス報告の分析に関する事。</li> <li>・ リスクマネジャーとの連絡調整に関する事。</li> <li>・ 安全管理に関する教育・研修の企画運営に関する事。</li> <li>・ その他医療事故の防止・医療の安全性の向上に関する事。</li> </ul> </li> </ul>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有) ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全管理に関する基本的な考え方</li> <li>・ 安全管理の体制確保のための委員会の組織規約</li> <li>・ 医療事故発生時の対応方法</li> <li>・ 各部門ごとの安全管理マニュアル</li> <li>・ 患者からの相談への対応に関する基本方針</li> </ul> </li> </ul>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療事故の防止及びその対策に関する事。</li> <li>・ 医療事故防止マニュアルの作成に関する事。</li> <li>・ 医療事故防止の教育・研修に関する事。</li> <li>・ その他医療事故の防止に関する事。</li> </ul> </li> </ul>	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロールプレイで学ぶ医療安全とコミュニケーション</li> <li>・ 危険予知活動 (KYK) と指差し呼称</li> <li>・ あなたは知っていますか？ - AEDを用いた心肺蘇生法 -</li> </ul> </li> </ul>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアル整備, インシデントレポートシステム, リスクマネジャー配置,</li> <li>医療事故等調査委員会, 院内研修, 院内相互チェック実施</li> </ul> </li> </ul>	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況	㊟・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 院内感染対策に関する基本的考え方</li> <li>2) 委員会について</li> <li>3) 感染制御部の業務内容</li> <li>4) 院内感染対策のための職員教育および研修</li> <li>5) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>6) 院内感染発症時の対応に関する基本方針</li> <li>7) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>8) その他当院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li> </ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 56 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>感染予防対策委員会 1回/月 合計12回  ICT全体会議 1回/月 合計12回  感染制御部スタッフ会議 2回/月 合計21回</p> <p>以上3委員会はそれぞれ連携して以下の活動をする</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 耐性菌サーベイランス、侵襲的処置別感染症サーベイランス</li> <li>② 感染予防対策立案と指導、マニュアルの管理</li> <li>③ 抗菌薬使用の管理</li> <li>④ ICT との連携</li> <li>⑤ 重症感染症および特殊感染症の診断および治療に関するコンサルテーション</li> <li>⑥ 感染予防対策に関する教育および研修の企画運営</li> <li>⑦ 針刺しおよび体液汚染事故に関するサーベイランスと事故への対応および予防対策の立案指導</li> <li>⑧ その他医療従事者の感染予防と発症時の指導（結核、流行性疾患など）</li> <li>⑨ 医療廃棄物の取り扱いの管理と指導、環境整備に関する管理と指導</li> <li>⑩ その他感染予防対策上の問題に関与する。</li> </ol> <p>看護部感染対策委員会 1回/月 合計11回  手指衛生のコンプライアンスの測定と改善  感染防止の視点からの看護手順の作成  医療廃棄物の適切な処理の状況把握と指導</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 40 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 全職員対象感染対策講習会 2回/年（同じ内容で2回ずつ計4回） <ol style="list-style-type: none"> <li>① Standard Precautions、結核の院内感染防止、針刺し切り傷・血液曝露事故防止</li> <li>② 抗菌薬の使い方、尿路感染防止</li> </ol> </li> <li>2) 新採用者研修 1回/年</li> <li>3) 中途採用者研修 2回/年</li> <li>4) 主に看護師対象感染防止技術研修会 年12回  &lt;内容&gt; 感染予防対策に関する基本的な事項、Device関連の感染予防策、流行性疾患対策など</li> <li>5) 部署別手指衛生教育 合計23回  &lt;内容&gt; 手指衛生の重要性と方法</li> </ol>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (㊟・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：  その年のスローガンを決め、強化をする。  平成19年度は、手指衛生のコンプライアンスの改善をスローガンとし、手指衛生コンプライアンスの測定と、アルコール手指消毒剤の使用状況をの把握、手指衛生教育の充実や手指衛生に関する川柳展などを行った。</p>	